

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 1 2 号
受 理 年 月 日	令 和 4 年 2 月 1 5 日
件 名	日 本 政 府 に 核 兵 器 禁 止 条 約 の 批 准 を 求 め る 意 見 書 採 択 の 請 願
請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名	原 水 爆 禁 止 桐 生 ・ み どり 協 議 会 代 表 理 事 丸 橋 寛 桐 生 市 東 7 - 3 - 2
請 願 の 要 旨	<p>【請願趣旨】</p> <p>昨年1月22日、被爆者の皆さんが長年求めてきた核兵器禁止条約が発効した。これにより人類史上初めて核兵器が国際法として違法とされた。しかし、唯一の戦争被爆国である日本政府はアメリカの核の傘の下にあることから「核保有国と被核保有国との橋渡しをする我が国の立場と異なる」として批准に反対しているが、世界でただひとつ原爆の惨禍を体験した国として、とりわけ日本政府には被爆国としての特別の責任があり、核兵器全面禁止を世界によびかけ、被爆の実相と核兵器廃絶を世界に発信し続ける大きな役割を果たしていかなければならない。</p> <p>しかしながら、岸田総理は広島県出身を誇りながら、条約への署名はおろか、桐生市議会で採択された意見書でも指摘している、締約国会議へのオブザーバー参加をも拒否している。一方ではNATO加盟国であるドイツ、ノルウェーが参加を表明している。</p> <p>核兵器は人類と共存することは出来ない。</p> <p>そのためにも私たち被爆国の国民と日本政府は、核兵器禁止条約を批准し、広島・長崎の被爆の実相を世界に発信し続け、核兵器廃絶を世界に訴えなければならない。</p> <p>桐生市議会におかれては地方自治法第99条に基づき、日本政府に対し「核兵器禁止条約」への署名・批准を求める意見書を議決していただくよう請願するものである。</p> <p>【請願事項】</p> <p>1. 「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」を桐生市議会として採択し日本政府に提出すること。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
紹 介 議 員	渡 辺 恒、関 口 直 久
付 託 委 員 会	総 務 委 員 会
審 査 結 果	